



2024年11月8日

各位

会社名 サイバートラスト株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 北村 裕司
(コード番号：4498 東証グロース)
問合せ先 取締役 常務執行役員 CFO 清水 哲也
(TEL 03-6234-3800)

2025年3月期第2四半期決算に関する質疑応答集

当社の2025年3月期第2四半期決算に関して、当社で想定していました質問および発表以降に株主・投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想および当社からの回答をまとめましたので以下の通りお知らせいたします。

なお本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆修正を行っております。

Q1 第2四半期業績についてはどのように評価していますか？

A1 第2四半期業績は前年同期比**二桁増収増益**の結果となり、**順調に推移**しているものと評価しております。

特に CentOS 延長サポートが期初の想定を上回る受注額となったこと等により、**リカーリング売上が大幅に伸長**したことが、業績に寄与したと評価しております。

Q2 プラットフォームサービス（うち旧 Linux/OSS サービス）は、CentOS 延長サポートが好調のため通期売上高は予想を上回る水準と思われるが、通期の全体業績の予想に変更はないのでしょうか？

A2 現時点では通期業績予想の**変更はございません**。

CentOS 延長サポートは非常に好調に推移しており**想定を上回り進捗**しております。一方で、認証・セキュリティサービス、プラットフォームサービスともに**プロフェッショナルサービスは下期偏重**であり現時点では、まだ**見通しが固まっていないため業績予想を据え置き**としております。今後、業績予想の変更が必要な状況になった場合には適時に開示いたします。

Q3 認証セキュリティサービスの売上高は前年同期比で伸びが低く見えますが、何か理由がありますか？

A3 リカーリングサービスの**サーバー証明書**と**プロフェッショナルサービス**が**やや伸び悩む**結果となったことに起因しております。

認証・セキュリティサービスは、安定高収益サービスであるデバイス ID、高成長牽引サービスである iTrust が収益基盤として安定した成長をしております。

一方でリカーリングサービスのサーバー証明書は、既存顧客の契約形態変更の影響などにより前年同期比で減収となりました。

なお、既に新規案件獲得に向け販促活動を強化しており、下期は計画達成を目指しております。
また、プロフェッショナルサービスは、例年下期に偏る傾向がありますが、今期はその傾向がより顕著となることを見込んでおります。

Q4 期中でサービス構成変更を行う理由について教えてください。

A4 従来は、認証・セキュリティサービス、Linux/OSS サービス、IoT サービスと3つのサービス構成としておりましたが、DXの進展に伴いお客様が持つトータルニーズに対しての提案が求められる状況にあります。

具体的には、インフラに関わるIoT機器の組込みOS、あるいはサーバーを含めたプラットフォームという観点での提案を求められる機会が多くなってきております。

特に注力市場である重要インフラ市場においてこの傾向がみられたことから、これらの市場動向に迅速に対応していくことが今後の成長にも非常に重要であるという観点から、来期以降の成長も視野に市場環境・顧客ニーズに適したサービス構成とすることが必要と判断し、期中ではありますがサービス構成の統合を行いました。

* iTrust®は当社の登録商標です。

* 登録商標 Linux® は、Linus Torvalds から排他的ライセンスを受けている The Linux Foundation からサブライセンスを受けて使用しています。

* その他本文書に記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。

以上